

News Release

平成21年 2 月 12 日

パイオニア株式会社 平成21年 3 月期 第 3 四半期 連結業績についてのお知らせ

1. 連結経営成績

(金額単位 百万円)

科 目	第 3 四 半 期			第 3 四 半 期 連 結 累 計 期 間		
	平成21年3月期 (平成20年10月 ～平成20年12月)	平成20年3月期 (平成19年10月 ～平成19年12月)	前 年 同 期 比	平成21年3月期 (平成20年4月 ～平成20年12月)	平成20年3月期 (平成19年4月 ～平成19年12月)	前 年 同 期 比
営 業 収 入	131,231	211,039	62.2%	458,273	594,200	77.1%
営業利益 (△損失)	△10,723	6,887	—	△23,814	9,149	—
税引前利益 (△損失)	△20,954	7,620	—	△57,831	25,265	—
当期純利益 (△損失)	△26,147	1,688	—	△79,125	11,624	—

平成21年 3 月期第 3 四半期 (平成20年10月 1 日～平成20年12月31日) における連結営業収入は、米国の金融危機に端を発した世界的な消費の冷え込みや円高の影響などにより、主にカーオーディオやプラズマディスプレイおよびDVDドライブの売上が減少したことから、前年同期に比べ37.8%減収の131,231百万円となりました。

営業損益は、営業収入の減少と原価率の悪化により、前年同期の6,887百万円の利益から、10,723百万円の損失となりました。当期純損益は、有価証券評価損5,098百万円や事業構造改革費用3,693百万円および繰延税金資産の評価に伴う税金費用の計上により、前年同期の1,688百万円の利益から、26,147百万円の損失となりました。

当四半期の為替レートは、前年同期に比べ対米ドルは17.5%、対ユーロは29.3%の円高となりました。

カーエレクトロニクスの営業収入は、世界的な自動車の販売不振の影響もあり、カーオーディオとカーナビゲーションシステムの売上がともに減少したことから、前年同期に比べ28.4%減収の66,340百万円となりました。カーナビゲーションシステムについては、市販市場向けの売上は、主に国内や北米で減少したことから、減収となりました。OEMの売上は、北米で減少しましたが、国内や中国で増加したことから、増収となりました。カーオーディオについては、市販市場向けの売上は、主に海外で減少したことから、減収となりました。また、OEMの売上も、国内や北米で減少したことから、減収となりました。なお、カーエレクトロニクスの営業収入全体に占めるOEMの売上構成比は、前年同期の約40%から約47%となりました。

国内外別の営業収入については、国内は11.7%減収の29,613百万円、海外は37.9%減収の36,727百万円となりました。

営業損益は、主にカーオーディオにおいて、売上が減少したことや生産台数の減少と円高の影響によって原価率が悪化したことにより、前年同期の5,905百万円の利益から、1,213百万円の損失となりました。

問合せ先：コーポレートコミュニケーション部 IR室
電 話 (03) 3495-6773
ファクシミリ (03) 3495-4301
Eメール pioneer_ir@post.pioneer.co.jp
U R L <http://pioneer.jp/ir/>

ホームエレクトロニクスの営業収入は、前年同期に比べ48.8%減収の51,426百万円となりました。これは主に、プラズマディスプレイやDVDドライブ、オーディオ製品の売上が減少したことによるものです。なお、ホームエレクトロニクスの営業収入全体に占めるディスプレイの売上構成比は、前年同期の約42%から約39%となりました。

国内外別の営業収入については、国内は30.4%減収の10,233百万円、海外は52.0%減収の41,193百万円となりました。

営業損益は、主にプラズマディスプレイにおける売上の減少や原価率の悪化により、前年同期の777百万円の利益から、9,752百万円の損失となりました。

その他の営業収入は、主に電子部品や携帯電話用スピーカーユニットの売上が減少したことから、前年同期に比べ24.5%減収の13,465百万円となりました。

国内外別の営業収入については、国内は17.5%減収の9,092百万円、海外は35.9%減収の4,373百万円となりました。

営業損益は、売上の減少により、前年同期の448百万円の利益から、624百万円の損失となりました。

平成21年3月期第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）における連結営業収入は、前年同期に比べ22.9%減収の458,273百万円となりました。営業損益は、前年同期の9,149百万円の利益から、23,814百万円の損失となりました。当期純損益は、所沢事業所および大森事業所（一部）の土地・建物の売却益を計上したことなどによる前年同期の11,624百万円の利益に対して、79,125百万円の損失となりました。

(注) 1. 各セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

2. 従来は、「特許関連事業」を独立セグメントとして区分していましたが、当該事業の連結業績に対する重要性が低下したことにより、当期から「その他事業」セグメントに含めています。前年同期の金額についても、当四半期の表示に合わせて組替表示しています。

2. 連結財政状態

当第3四半期連結会計期間末（平成20年12月31日現在）の総資産については、前期末に比べ82,310百万円減少し、493,806百万円となりました。これは、棚卸資産は増加したものの、現金及び現金同等物や受取手形及び売掛金、投資及び長期債権、長期繰延税金などが減少したことによるものです。棚卸資産は、売上の減少で主にプラズマディスプレイの在庫が増加したことにより19,118百万円増加し、123,286百万円となりました。一方、受取手形及び売掛金は、主に売上の減少により21,331百万円減少し、71,737百万円となりました。投資及び長期債権は、主に保有株式の株価下落により16,906百万円減少し、19,491百万円となりました。また、長期繰延税金は、評価性引当金の増加により13,221百万円減少し、26,694百万円となりました。

負債については、前期末に比べ23,356百万円増加し、350,715百万円となりました。これは、主に短期借入金が増加したことによるものです。

資本については、前期末に比べ105,607百万円減少し、141,788百万円となりました。これは、主に、利益剰余金が79,200百万円減少したほか、円高の影響により、その他の包括損失累計額が26,407百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）のキャッシュ・フローについては、営業活動では、64,598百万円のキャッシュを使用しました。これは、現金支出を伴わない減価償却費20,338百万円や繰延税金費用17,670百万円、および有価証券評価損13,749百万円などがあったものの、当期純損失79,125百万円や棚卸資産の増加33,262百万円などのキャッシュ減少要因があったことによるものです。投資活動では、カーエレクトロニクス事業における設備投資などに、17,576百万円のキャッシュを使用しました。財務活動で

は、短期借入金の増加などにより、49,771百万円のキャッシュを得ました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ37,858百万円減少し、43,322百万円となりました。

3. 連結業績予想

平成20年10月30日に発表した平成21年3月期の通期連結業績予想を次のとおり修正します。

なお、平成21年3月期期末決算より、連結財務諸表における会計基準を米国会計基準から日本会計基準に変更することに伴い、今回修正予想については、日本会計基準に基づいて算出しています。

(金額単位 百万円)

	営業収入	営業利益 (△損失)	税引前利益 (△損失)	当期純損失
前回発表予想 【米国会計基準】 (A)	700,000	△17,000	△54,000	△78,000
今回修正予想 【日本会計基準】 (B)	560,000	△69,000	△110,000	△130,000
増減額 (B-A)	△140,000	△52,000	△56,000	△52,000
増減率 (%)	△20.0	—	—	—
平成20年3月期実績 (ご参考) 【米国会計基準】	774,477	10,907	3,434	△17,992

営業収入は、主要製品における競争の激化や世界的な景気の悪化、および急激な円高の影響を受け、カーエレクトロニクス事業およびホームエレクトロニクス事業ともに計画を下回ることにより、前回発表予想の7,000億円から5,600億円に修正します。

営業損失は、売上の減少による損益悪化の影響を見込んだことなどにより、前回発表予想の170億円から69億円に修正します。税引前損失は、営業損失の拡大に加え、有価証券評価損を51億円追加計上したことなどにより、540億円から1,100億円に修正します。以上の理由により、当期純損失は、税金費用の減少を40億円見込んだものの、780億円から1,300億円に修正します。

なお、前回発表予想 (A) における会計基準の変更による影響額を試算した場合、上記の金額に対して、営業損失はマイナス20億円、税引前損失はマイナス5億円、当期純損失はプラス45億円となります。

業績予想における第4四半期の為替の前提レートについて、米ドルは前回発表予想より10円円高の1米ドル=90円、ユーロは15円円高の1ユーロ=115円を想定しています。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、厳しい価格競争、主観的で変化しやすい消費者の嗜好等の特徴とする、競争の激しい市場において、評価の高い製品やサービスを継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術進展に応じて、競争し、販売戦略を策定、成功させる能力、(6)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)他社との合弁や提携の成功、(9)事業構造改革の成功、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
米国財務会計基準審議会基準書第157号「公正価値の測定」を、平成20年4月1日より適用しています。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結貸借対照表

(金額単位 百万円)

科目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)	対前年 同期末増減	前連結会計年度末に 係る要約連結 貸借対照表 (平成20年3月31日)	対前期末 増減
(資産の部)					
現金及び現金同等物	43,322	93,755	△50,433	81,180	△37,858
受取手形及び売掛金	71,737	127,906	△56,169	93,068	△21,331
棚卸資産	123,286	135,101	△11,815	104,168	19,118
その他の流動資産	69,126	72,779	△3,653	70,821	△1,695
流動資産合計	307,471	429,541	△122,070	349,237	△41,766
投資及び長期債権	19,491	44,586	△25,095	36,397	△16,906
有形固定資産	115,240	145,786	△30,546	122,752	△7,512
無形固定資産	15,963	18,801	△2,838	17,738	△1,775
長期繰延税金	26,694	34,653	△7,959	39,915	△13,221
その他の資産	8,947	10,946	△1,999	10,077	△1,130
資産合計	493,806	684,313	△190,507	576,116	△82,310
(負債の部)					
短期借入金	73,165	43,442	29,723	14,812	58,353
1年以内返済予定の 長期債務	2,800	14,166	△11,366	13,672	△10,872
買掛金	75,116	108,278	△33,162	86,195	△11,079
未払費用	72,057	91,456	△19,399	80,632	△8,575
その他の流動負債	23,479	13,167	10,312	26,696	△3,217
流動負債合計	246,617	270,509	△23,892	222,007	24,610
長期債務	68,198	73,115	△4,917	72,041	△3,843
その他の固定負債	35,900	22,848	13,052	33,311	2,589
負債合計	350,715	366,472	△15,757	327,359	23,356
(少数株主持分)					
少数株主持分	1,303	1,397	△94	1,362	△59
(資本の部)					
資本金	69,824	69,824	—	69,824	—
資本剰余金	103,578	103,578	—	103,578	—
利益剰余金	66,095	175,421	△109,326	145,295	△79,200
その他の包括損失累計額	△86,585	△21,255	△65,330	△60,178	△26,407
自己株式	△11,124	△11,124	—	△11,124	—
資本合計	141,788	316,444	△174,656	247,395	△105,607
負債、少数株主持分 及び資本合計	493,806	684,313	△190,507	576,116	△82,310
その他の包括損失累計額内訳					
年金債務調整額	△13,278	△5,137	△8,141	△12,279	△999
未実現有価証券保有益	361	5,857	△5,496	1,943	△1,582
累積外貨換算調整勘定	△73,668	△21,975	△51,693	△49,842	△23,826

(2) 四半期連結損益計算書

(金額単位 百万円)

科目	第3四半期		前年同期比	第3四半期連結累計期間		前年同期比
	当四半期 (平成20年10月 ～平成20年12月)	前年同期 (平成19年10月 ～平成19年12月)		当期 (平成20年4月 ～平成20年12月)	前年同期 (平成19年4月 ～平成19年12月)	
営業収入						
売上高	131,175	210,891	62.2%	458,073	593,637	77.2%
特許料収入	56	148	37.8	200	563	35.5
計	131,231	211,039	62.2	458,273	594,200	77.1
営業費用						
売上原価	110,257	157,817	69.9	372,221	451,548	82.4
販売費及び一般管理費	31,697	46,335	68.4	109,866	133,503	82.3
計	141,954	204,152	69.5	482,087	585,051	82.4
営業利益 (△損失)	△10,723	6,887	—	△23,814	9,149	—
営業外収益・費用						
事業構造改革費用	△3,693	—	—	△19,310	—	—
有価証券評価損	△5,098	△23	—	△13,749	△28	—
受取利息	624	1,562	39.9	2,650	4,476	59.2
為替差損益	△1,188	△367	323.7	△929	△199	466.8
支払利息	△382	△357	107.0	△1,597	△1,286	124.2
その他 (純額)	△494	△82	602.4	△1,082	13,153	—
計	△10,231	733	—	△34,017	16,116	—
税引前利益 (△損失)	△20,954	7,620	—	△57,831	25,265	—
税金	5,162	5,929	87.1	21,043	13,507	155.8
少数株主損益	△25	△63	39.7	△122	△201	60.7
持分法投資損益	△6	60	—	△129	67	—
当期純利益 (△損失)	△26,147	1,688	—	△79,125	11,624	—

(3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位 百万円)

科目	第3四半期		第3四半期連結累計期間	
	当四半期 (平成20年10月 ～平成20年12月)	前年同期 (平成19年10月 ～平成19年12月)	当期 (平成20年4月 ～平成20年12月)	前年同期 (平成19年4月 ～平成19年12月)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 当期純利益 (△損失)	△26,147	1,688	△79,125	11,624
2. 減価償却費及び償却費	6,858	9,382	20,338	26,154
3. 繰延税額	5,620	3,735	17,670	7,003
4. 有価証券評価損	5,098	23	13,749	28
5. 固定資産除売却損益	12	248	△529	△12,402
6. 受取手形及び売掛金の減少(△増加)額	7,961	△4,286	13,176	△9,477
7. 棚卸資産の減少(△増加)額	△10,007	3,249	△33,262	△29,060
8. 買掛金の増加(△減少)額	△12,522	△6,415	△4,748	16,221
9. 未払法人税等・未払人件費・その他の未払費用の減少額	△13,052	△5,635	△2,223	△5,116
10. その他	△2,777	△4,224	△9,644	△12,375
営業活動によるキャッシュ・フロー	△38,956	△2,235	△64,598	△7,400
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 固定資産の取得による支出	△8,259	△8,930	△24,429	△34,240
2. 子会社株式の取得による支出	—	△330	—	△14,672
3. 売却可能有価証券の取得による支出	—	△19,750	—	△19,750
4. 保険解約手取金	5,515	—	5,515	—
5. その他	432	△240	1,338	2,657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,312	△29,250	△17,576	△66,005
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金及び長期債務の増減	18,935	3,209	50,679	27,536
2. 配当金の支払	—	△872	△513	△1,744
3. 新株式発行による手取金 (株式発行費用控除後)	—	41,358	—	41,358
4. その他	△33	△647	△395	△2,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,902	43,048	49,771	64,741
IV 現金及び現金同等物の換算差額	△6,743	72	△5,455	599
V 現金及び現金同等物の純増加(△減少)額	△29,109	11,635	△37,858	△8,065
VI 現金及び現金同等物の期首残高	72,431	82,120	81,180	101,820
VII 現金及び現金同等物の期末残高	43,322	93,755	43,322	93,755
フリー・キャッシュ・フロー (I+II)	△41,268	△31,485	△82,174	△73,405

(4) 四半期セグメント別営業収入

(金額単位 百万円)

		第3四半期				前年同期比	第3四半期連結累計期間				前年同期比
		当四半期 (平成20年10月～平成20年12月)		前年同期 (平成19年10月～平成19年12月)			当期 (平成20年4月～平成20年12月)		前年同期 (平成19年4月～平成19年12月)		
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比	
	国内	29,613	22.6%	33,519	15.9%	88.3%	92,933	20.3%	94,392	15.9%	98.5%
	海外	36,727	28.0	59,172	28.0	62.1	147,048	32.1	188,046	31.6	78.2
	カーエレクトロニクス	66,340	50.6	92,691	43.9	71.6	239,981	52.4	282,438	47.5	85.0
	国内	10,233	7.8	14,709	7.0	69.6	23,608	5.2	38,084	6.4	62.0
	海外	41,193	31.4	85,803	40.6	48.0	147,750	32.2	221,308	37.3	66.8
	ホームエレクトロニクス	51,426	39.2	100,512	47.6	51.2	171,358	37.4	259,392	43.7	66.1
	国内	9,092	6.9	11,017	5.2	82.5	30,129	6.5	31,888	5.4	94.5
	海外	4,373	3.3	6,819	3.3	64.1	16,805	3.7	20,482	3.4	82.0
	その他	13,465	10.2	17,836	8.5	75.5	46,934	10.2	52,370	8.8	89.6
	国内	48,938	37.3	59,245	28.1	82.6	146,670	32.0	164,364	27.7	89.2
	海外	82,293	62.7	151,794	71.9	54.2	311,603	68.0	429,836	72.3	72.5
	連結営業収入計	131,231	100.0	211,039	100.0	62.2	458,273	100.0	594,200	100.0	77.1

(5) 事業の種類別セグメント情報

(金額単位 百万円)

	第3四半期					
	当四半期 (平成20年10月～平成20年12月)		前年同期 (平成19年10月～平成19年12月)		前年同期比	
	営業収入	営業損益	営業収入	営業損益	営業収入	営業損益
カーエレクトロニクス	66,929	△1,213	93,189	5,905	71.8%	—%
ホームエレクトロニクス	51,567	△9,752	100,677	777	51.2	—
その他	19,375	△624	26,109	448	74.2	—
合計	137,871	△11,589	219,975	7,130	62.7	—
消去又は全社	△6,640	866	△8,936	△243	—	—
連結	131,231	△10,723	211,039	6,887	62.2	—

	第3四半期連結累計期間					
	当期 (平成20年4月～平成20年12月)		前年同期 (平成19年4月～平成19年12月)		前年同期比	
	営業収入	営業損益	営業収入	営業損益	営業収入	営業損益
カーエレクトロニクス	241,512	1,563	283,974	19,540	85.0%	8.0%
ホームエレクトロニクス	171,781	△24,099	259,913	△8,765	66.1	—
その他	69,409	△445	78,075	△32	88.9	—
合計	482,702	△22,981	621,962	10,743	77.6	—
消去又は全社	△24,429	△833	△27,762	△1,594	—	—
連結	458,273	△23,814	594,200	9,149	77.1	—

- (注) 1. 当社の連結財務諸表は、セグメント情報の開示を除き、米国会計基準に基づいて作成されています。
2. 当社グループの事業区分別の主要製品は次のとおりです。
- [カーエレクトロニクス事業]
- カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、カースピーカー
- [ホームエレクトロニクス事業]
- プラズマディスプレイ、液晶テレビ、DVDレコーダー、DVDプレーヤー、DVDドライブ、ブルーレイディスクレコーダー、ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクドライブ、オーディオシステム、オーディオコンポーネント、DJ機器、CATV関連機器
- [その他事業]
- 有機ELディスプレイ、FA機器、スピーカーユニット、電子部品、電話機、AVアクセサリ、業務用AVシステム、光ディスク関連特許の使用許諾
3. 従来は、「特許関連事業」を独立セグメントとして区分していましたが、当該事業の連結業績に対する重要性が低下したことにより、当期から「その他事業」セグメントに含めています。前年同期の金額についても、当期の表示に合わせて組替表示しています。

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成21年3月期 第3四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成21年2月12日

上場会社名 パイオニア株式会社
 コード番号 6773 URL <http://pioneer.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 小谷 進
 (氏名) 岡安 秀喜

上場取引所 東

TEL 03-3494-1111

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	458,273	△22.9	△23,814	—	△57,831	—	△79,125	—
20年3月期第3四半期	594,200	△0.1	9,149	△45.3	25,265	39.5	11,624	△0.2

	1株当たり四半期純利益	希薄化後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△385.95	△385.95
20年3月期第3四半期	66.07	59.68

(注)営業利益は、営業収入から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額で算出しています。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	493,806	—	141,788	—	28.7	—	691.61
20年3月期	576,116	—	247,395	—	42.9	—	1,206.71

(注)純資産は、米国会計基準に基づく資本合計を記載しています。また、自己資本比率および1株当たり純資産は、米国会計基準に基づく資本合計を用いて算出しています。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	2.50	7.50
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年3月期期末配当は、業績等を考慮して今後決定する予定です。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		税引前当期純利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	△27.7	△69,000	—	△110,000	—	△130,000	—	△634.11

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

平成21年3月期期末決算より、連結財務諸表における会計基準を米国会計基準から日本会計基準に変更することに伴い、連結業績予想については、日本会計基準に基づいて算出しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ「4. その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 210,063,836株 20年3月期 210,063,836株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 5,051,102株 20年3月期 5,046,888株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 205,015,042株 20年3月期第3四半期 175,924,883株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の前提条件および注意事項等については、3ページをご参照下さい。